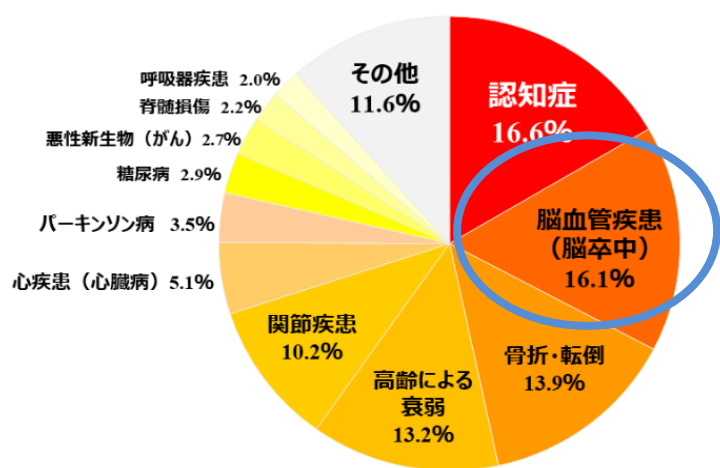


脳血管疾患は介護の原因にもなります！

介護が必要となった主な原因の構成割合



(出典：「2022（令和4）年国民生活基礎調査の概況」厚生労働省 2023.7.4より作図）

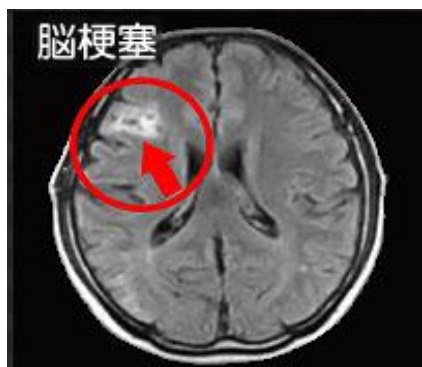
脳卒中は、脳の血管が破れて起こるクモ膜下出血と脳出血、脳の血管が詰まって起こる脳梗塞があり、発症すると重い後遺症が残るなど、命にも関わる重大な病気のため、発病してから治療するよりも予防することが大切になります。

自覚症状のないうちに脳の状態を調べ、生活習慣の改善に努めることで、将来の脳疾患のリスクを軽減することができます。

尚、要介護4～5に認定される原因では、脳血管疾患（脳卒中）が認知症を抜いて1位になっています。

MRI検査とMRA検査

MRI(磁気共鳴画像診断装置)は、「強い磁場」と「電磁波」を利用して体内の状態を画像にします。MRI検査では、脳の断層画像(MRI)や血管像(MRA)を撮影することで脳内異常の早期発見として、脳卒中の原因となる脳動脈瘤や脳梗塞、脳腫瘍、脳血管の狭窄・閉塞を発見できます。また、MRI検査は放射線被ばくがなく、安心して検査を受けることができます。



脳梗塞とは、脳を栄養する動脈の血行不良により、酸素や栄養を受けている神経細胞が死ぬことでさまざまな症状をきたす病気です。かつて脳卒中の大部分は“脳出血”が占めていましたが、近年は逆転し“脳梗塞”が上回るようになりました。その理由として生活習慣の変化による糖尿病や脂質異常症の増加が考えられます。



脳動脈瘤は、脳の動脈にできる血管のふくらみで、クモ膜下出血の原因になります。破裂する前に見つけ、適切な処置を受けることで、脳卒中の発症や後遺症を未然に防ぐことができます。

平日午後脳ドックのご案内

発症するまでは自覚症状が乏しい脳血管障害ですが、発症前からリスクを抱えているケースも多く、自覚症状がない段階から定期的に脳ドックを受けることによって発症を予防できるケースもあります。今回、総合健診センター「コスモ」では、これまで早朝にしか行っていなかった脳ドックの受診機会を平日午後にも設けることになりました。

受診機会を増やすことで、住民の皆様の脳血管疾患の早期予防に繋がれればと考えております。

脳MRI/MRA検査…月曜日～金曜日 午後3時

料金22,000円⇒20,000円(税込)

※救急患者の撮影が入った場合には、お待ちいただく場合や後日検査になる場合もありますので、ご了承ください。

【お問い合わせ先】

総合健診センター「コスモ」 TEL:0966-42-2410

